

(様式1)

## 令和5年度柏市地域活動支援補助金（+1〇）応募用紙

### 1 事業の名称

町会業務の「誰でも化」のためのICT化に挑む

同じ事業での応募回数（最大3回まで）

1 回

### 2 対象事業分野（該当するものに〇をしてください）

	分 野	事 業 内 容
	環境美化・保全	地域環境の美化を図ったり、地域の自然環境の保全等に係るコミュニティ活動
	防災・防犯	地域の災害対応力や防犯力を向上させるコミュニティ活動
	交流イベント等	町会活動等への理解を促進させたり、住民の地域に対する愛着を強めたりするコミュニティ活動
○	ICT推進	町会活動等のデジタル化を進めるコミュニティ活動

### 3 団体について

町会等・ふる協名	松葉三丁目町会			ふる協エリア：松葉		
事務所所在地	柏市松葉町3-21-4					
会員数	346世帯		役員数	9名(他に班長・副班長16名)		
会長・区長名	氏名	堀江 義光				
応募責任者 <small>※必ず主担当、副担当の両方のご記入をお願いいたします。</small> <small>※応募責任者は会長・区長が兼ねても構いません。</small>	氏名	堀江 義光				
	住所	柏市	松葉町3-21-4			
	電話	090-9152-4517				
	E-mail	Ja180427-2982@tbm.t-com.ne.jp				
	氏名	武藤 達雄				
副	住所	柏市	松葉町3-4-15			
	電話	04-7133-0227				
	E-mail					

**4 応募事業内容（選考のポイントとなる項目です。地域の課題やその解決方法、応募事業がモデルとなりうる点を記載してください）。**

**①事業概要**

(+10による事業のみを記載してください。)

- (1) スマホ回覧板の手続き変更を機に、ICT化をバージョンアップする。（LINEライトプランの有料化により、メルアドによるネットワークに変更する。）  
(2) ホームページを立ち上げ、グーグルクラウドと併用して、町会DBを充実させる。  
①事務処理やイベント手順ノウハウのDX化により「誰でも化」を図る。  
②3丁目町会住民がアクセスして役に立つデータファイル化（ex.ゴミ当番表）  
③柏市のHP、松葉3校、地元商店・飲食店とのリンクにより地域活性化する。

**②具体的な活動内容とその効果**

(2回目以降の場合は、前年度を踏まえた内容をご記入ください。)

**具体的な活動内容**

- (1) LINEお友だち機能が使えなくなったことに伴う、システム変更  
(2) これを機に、ホームページを立ち上げ、住民が情報を得やすい環境をつくる。HPの背景画面は子どもたちの絵やデザインを使う。  
(3) 柏市のHPや地元商店とリンクを貼り、ワンストップクリックで地域を盛り上げる。

**期待される効果**

- (1) 町会役員の引継ぎ資料のIT化、オーブン化をすすめ「誰でも化」する。  
(2) 松葉地区17町会にもIT化を促し、HP、SNSを通して情報、ノウハウの交換をはかる。いすれは柏市をはじめ、日本全国に普及したい。  
(3) IT上に住民にもアクセスしてもらい双方向コミュニケーションが期待できる。

**③令和5年度事業計画**

(+10による事業のみを記入してください。)

時期	実施内容
令和5年4月	○スマホ回覧板の仕様変更作業（2023年5月末まで） LINEからメルアドへ
4月	○松葉地区全般、松葉三丁目のICT化、コンテンツの検討～HP立ち上げ DX化スタート
5月	○町会の行事ノウハウ、役員資料、回覧物ファイルのDB化～デジタル化によって省スペース化、クイックアクセス化
8月	ホームページアプリ開発
10月	ホームページ開始、背景画面の公募、住民の総選挙（投票）によって、入賞者を決める。月毎にローリングする。これによって住民の関心を高める。
11月	スクラッチ言語などにより、小・中・高校生による技術コンテストを行う。
令和6年2月	防災施設、危険個所、MAP作成（手作りソフト）プロジェクトの振り返り

④関連する補助金等の有無と事業内容

(関連する補助金等を申請する場合は、その補助金の事業について説明してください。同一事業の受給はできません。)

有無	なし	「あり」か「なし」かを入力してください。なお、町会等が「防災・防犯」の分野で応募する場合は、行政連絡業務交付金の自主防災組織運営計算を受けていることが多いので、基本的に「あり」となります。 また、ふるさと協議会が応募する場合は、ふるさと運動補助金を受けているので、「あり」となります。
補助金名称		

⑤この事業に携わる会員、関係者、関係団体など

(団体名・人数・募集方法など、事業を通してどのような団体・人材に関わっていただくのかを具体的に)

- (1) 松葉三丁目ICTチーム（スマホ回覧板メンバー）7名「運用管理グループ」
- (2) 松葉地区をよくする会（中村年雄氏など）、SLF社
- (3) 松葉町地域ふるさと協議会（サーバーなどを提供してくれる協力者）
- (4) 松葉三丁目を住みやすくし、地元商店活性化の会（まつば～る会）（地産地消の会）を活性化する
- (5) 柏市地域協働を考える会（ICT研究会など）

⑥購入予定の備品

(購入する備品をどのように活用するのか記入してください)

特になし

5 +10が終了した後もこの事業を継続する方法

(市の補助が終わった後、予算はどう工面するのか、人員はどう確保するのかなどを記載してください。)

- (1) 所要経費については問題なし
- (2) 「運用管理グループ」7名が機能しており、今後とも新規のメンバーを集める。
- (3) 分かりやすい「取り扱いマニュアル」「トラブル対応マニュアル」を準備する。
- (4) ICT化により、現役世代、学生・生徒・児童にも地域活動に参加してもらう。
- (5) 子ども会、高齢者会、支えあいチームなど、町会内の自主チームがメンテナンスできる仕組みを作る。（ファイル別に分類してコントロールし易くする）

(様式 2)

## 事 業 収 支 予 算 書

(収入の部)

単位(円)

項目	件名(積算根拠)	金額	備考
町会等からの繰入金	町会からの繰入金	70,000	
事業収入			
地域活動支援補助金(+10)	D欄の90%(2・3回目の時は80%), 限度額10万円, 千円未満切り捨て	100,000	
寄附金等			
その他の収入			
合計		170,000	

(支出の部)

項目	件名(積算根拠)	金額	左記のうち 補助対象経費	備考
備品購入費				
報償費(講師謝礼等)	H.P説明会 講師謝礼@5千円*4 スマホ回覧板 LINEからの切り替え説明会	20,000 5,000	20,000 5,000	
需用費 (消耗品、印刷 製本、食糧費等)	H.Pマニュアル印刷費 新しいスマホ回覧板説明チラシ H.Pテンプレート賞品代およびチラシ	10,000 5,000 20,000	10,000 5,000 20,000	
役務費(通信運 搬費、手数料等)				
委託料・使用料 及び賃借料 (会場設営・賃 借、備品賃借等)	H.Pソフト開発費 メンテ・マニュアル開発費 スマホ回覧板 メルアド切り替え作業	35,000 15,000 20,000	35,000 15,000 20,000	
	小計(A)	130,000	130,000	
旅費(交通費等)	連絡経費	15,000	15,000	
	小計(B) ※補助対象経費の20%が上限	15,000	15,000	
その他 (団体の活動に 必要な事業費)	松葉地区町会・自治会広報費 ICT化、DX化研修費	5,000 20,000	0 0	
	小計(C)	25,000	0	
	合計(A+B+C)	170,000	145,000	